

泉自然公園の花と紅葉 公園周辺の史跡めぐり

(凡例)
コース

全コース 4.640メートル
歩行時間 1時間20分
見学時間 1時間40分
規定所要時間 3時間

上人塚もとの妙興寺跡で歴代上人の御墓所。

八文目遺跡

縄文時代より跡生時代に於ける住居跡が、貝塚の貝の化石のほか、土器のかけら、黒曜石(やじり) 獣骨など多数出土する。なおこのあたりは標高が約60メートルあり、野呂という地名の発祥の地となっている。ワロコはアイヌ語で高い所、台地のことを

市場山、跡生時代から江戸初期時代、鉄製品の市場が、馬の市場が開かれていた場所と思われる。この付近から製鉄の時に出る金屑(かなくそ) 敏津(みづ)がたくさん出土する。

泉自然公園
昭和44年6月3日開園。面積42万7千平方メートル。上の池、中の池、島の池、下の池、蓮池、吊り橋、水生植物園、野草園、外来樹の広場、果木の広場、もみじ谷、草原、梅林、杉林、一本松広場、お花見広場、野鳥の森などがある。春は水仙、カタクリの花、山吹、ホケソとしてさくら、フツジぞつきなと次つぎと咲き乱れ、6月は花菖蒲の美しく、秋の紅葉はまた格別である。紅葉も過ぎ、冬になると各池に鴨などの渡り鳥が多数飛来し、愛鳥家、バードウォッチング、写真家など絶好の場所となる。
E.M. 2002. 2. 20.

妙興寺は、山姥の伝説がある。長業山妙興寺は、長業市最古の日蓮宗に属する名刹である。日蓮上人の高弟で、六老の一人である。慶長元年(1596)僧侶の学問所、壇林を開き以後、天保5年(1834)で間続いた。現在の寺は慶応三年(1867)の建立である。

六社神社は、大國主命を主祭とし、六柱の神様が祀られている。鎌倉時代の創建。境内に天満宮、第六天、安房榎大明神、馬頭観音、庵倉神様が祀られている。三本杉にいつ打たれたかが打たれている。

妙興寺の護国寺として、上人の御墓所を祀っている。

縄文時代中期から後期及び奈良平安時代の集落跡。平成二年九月一日、千葉県教育委員会、千葉県教育委員

パー神様は、風邪の神様と云われている。本来は庵倉の神様と思われている。

約1200年前に此の場所に寺があった。後、今の上人塚に移り、その後、妙興寺となる。

野呂の農耕馬の蹄鉄をばかせることのできた。馬練場(まっくれば)

このカーブで14人が事故で亡くなっている。交通安全供養のお地蔵様である。

この道祖神は、治元元年(1658)に立石の塔で、当出口の霊石の霊石を祀っている。無事、家の子孫の繁栄、健康、安全、幸福を祈る神様である。

